

平成30年度 百合丘高等学校 年間指導計画

教科・科目	美術・素描	学年	第2学年	教科書
		単位数	2単位	副教材

学習目標	対象のイメージや空間を把握し、造形表現の基礎となる観察力と描写力を高める。				
学習方法	○描写力を高めるために用具の使い方から学びます。 ○観察力を身につける方法を学びます。 ○作品や作者の個性などに関心を持ち、発想や構想の独自性、表現の工夫などについて多様な視点から分析理解できるように学びます。				
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨		
	a	美術への関心・意欲・態度	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。		
	b	発想や構想の能力	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し創造的な表現の構想を練っている。		
	c	創造的な技能	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫して表している。		
	d	鑑賞の能力	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。		

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
					a	b	c	d		
前期	(3)表現材料	4	鉛筆によるグラデーション	課題の把握と構想	○				a:技法や材料, 用具の特性や効果を主体的に生かし, 計画や手順を吟味しながら制作の見直しを持って表現しようとしている。 b:主題を基に, 素材や表現形式の特性と, 形や色彩, 質感などの造形要素の働きを考え, 創造的な表現の構想を練っている。 c:効果的な表現方法を創意工夫し, 目的や意図に基づいて, 計画や手順を吟味し, 制作の見直しをもって表現している。	・活動観察 ・作品
				制作		○	○			
	(1)デッサン	12	幾何形体のデッサン	課題の把握と構想	○			○	a:技法や材料, 用具の特性や効果を主体的に生かし, 計画や手順を吟味しながら制作の見直しを持って表現しようとしている。 b:主題を基に, 素材や表現形式の特性と, 形や質感などの造形要素の働きを考え, 創造的な表現の構想を練っている。 c:技法や材料, 用具の特性を理解し, 目的や意図に応じて特性や効果を生かして表現している。 d:制作された作品のよさや美しさ, 作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り, その特徴を捉えて分析するなどして, 作品に対する見方や感じ方, 考え方などをもち, 理解している。	・活動観察 ・作品 ・作品発表 ・鑑賞
				制作		○	○			
後期	(2)スケッチ (3)表現材料	6	人物クロッキー	課題の把握と構想	○			○	a:技法や材料, 用具の特性や効果を主体的に生かし, モチーフの良さや美しさを表現しようとしている。 c:技法や材料, 用具の特性を理解し, 目的や意図に応じて特性や効果を生かして表現している。 d:作者の心情や表現の意図を読み取り, 良さや美しさを感じ取っている。	・活動観察 ・作品 ・作品発表 ・鑑賞
				制作			○			
	(1)デッサン	6	卓上静物デッサン	課題の把握と構想	○			○	a:技法や材料, 用具の特性や効果を主体的に生かし, 計画や手順を吟味しながら制作の見直しを持って表現しようとしている。 b:主題を基に, 素材や表現形式の特性と, 形や質感などの造形要素の働きを考え, 創造的な表現の構想を練っている。 c:技法や材料, 用具の特性を理解し, 目的や意図に応じて特性や効果を生かして表現している。 d:自然の中にある造形的なよさや美しさなどを感じ取り, 心豊かにして自らを向上させるうえで美術がもつ意義や働きを理解している。	・活動観察 ・作品 ・作品発表 ・鑑賞
		10		制作		○	○			
後期	(2)スケッチ (3)表現材料	8	植物スケッチ	課題の把握と構想	○			○	a:技法や材料, 用具の特性や効果を生かし, 自然の中にある美しさを見つけ, 計画や手順を吟味しながら制作の見直しを持って表現しようとしている。 b:主題を基に, 素材や表現形式の特性と, 形や質感などの造形要素の働きを考え, 創造的な表現の構想を練っている。 c:技法や材料, 用具の特性を理解し, 目的や意図に応じて特性や効果を生かして表現している。 d:制作された作品のよさや美しさ, 作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り, その特徴を捉えて分析するなどして, 作品に対する見方や感じ方, 考え方などをもち, 理解している。	・活動観察 ・作品 ・作品発表 ・鑑賞
				制作			○	○		
	(1)デッサン	18	着彩デッサン	課題の把握と構想	○			○	a:技法や材料, 用具の特性や効果を主体的に生かし, 計画や手順を吟味しながら制作の見直しを持って表現しようとしている。 b:主題を基に, 素材や表現形式の特性と, 形や質感などの造形要素の働きを考え, 創造的な表現の構想を練っている。 c:技法や材料, 用具の特性を理解し, 目的や意図に応じて特性や効果を生かして表現している。 d:自然や造形物の中にある造形的なよさや美しさなどを感じ取り, 心豊かにして自らを向上させるうえで美術がもつ意義や働きを理解している。	・活動観察 ・作品 ・作品発表 ・鑑賞
合計時数(55分授業)		64								